

ピンクリボン NEWS

2019年度
夏号
Vol.8 No.2

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWS 編集委員会

発行所 J.POSH事務局 〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

『11人に1人が乳がん』 てどう言うこと？

J.POSHでは正しい乳がんの知識を広める事も活動の一つになっております。そのため、乳がんの現状や経過を正しく把握したいと考え、統計データをウォッチングしております。

「11人に1人が乳がんになる。」啓発パネルやリーフレットにも書かれていますが、「この情報の出典元はどこ？」というご質問の他に「乳がんの罹患者数(患者数)は?」「乳がん検査の受診率は?」などの質問が多く寄せられます。これらのデータの出典元は、「国立がん研究センターがん情報サービス(以下 がん情報サービス)」です。

「がん登録等の推進に関する法律が成立」

統計を正しく公表するためには、正しいデータを集めることが大切になります。平成28年1月までは、日本のがん登録においては、都道府県の事業としての地域がん登録が実施されてきましたが、都道府県間で登録の精度が異なることや、国全体のがんの罹患者数の実数による把握ができないことが課題となっていました。こうした中、がん情報を漏れなく収集するため、「がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)」に基づく全国がん登録が平成28(2016)年1月より開始され、都道府県が新ルールに従い順次登録を始め、病院等で診断されたがんの種類や進行度等の情報が、病院等から都道府県を通じて国立がん研究センターへ提出され、一元的に管理されることになりました。がん登録によって得られた情報の活用により、正確な情報に基づくがん対策の実施及び各地域の実情に応じた施策の実施、がんのリスクやが

ん予防等についての研究の進展並びに患者さんやその家族等に対する適切な情報提供が期待されています。

がん登録情報の活用については、全国がん登録や「院内がん登録※1」によって得られるデータと他のデータとの連携により、より活用しやすい情報が得られる可能性があるが、データの連携に当たっては個人情報の保護に配慮する必要があることが明記されています。

「11人に1人が乳がんになる」(累積罹患リスク)

「がん情報サービス」では、ある年齢までにある病気に罹患する(その病気と診断される)おおよその確率のことで、0歳の人100人からなる集団を想定し、その集団を加齢させて、各種要因で亡くなる人を減らしていき、最終的に0人になるまでにかんに罹患する人数の比率を年代別に計算します。参考に少し古いですが、2005年乳がんの罹患・死亡データに基づく算出結果では

部位	女性全がん	乳房(C50)
～39歳	1.9	0.4
～49歳	2.4	1.7
～59歳	7.3	3.0
～69歳	19.1	4.3
～79歳	37.0	5.3
生涯	53.6	6.2
何人に?	2人	16人

※100人÷6.2=16人に一人が罹患する計算となります。

他にも「がん情報サービス」のホームページから「死亡データ」「罹患データ」「受診率」はダウンロードすることができますが、データを使用するにあたっては、使用条件を守る必要があります。

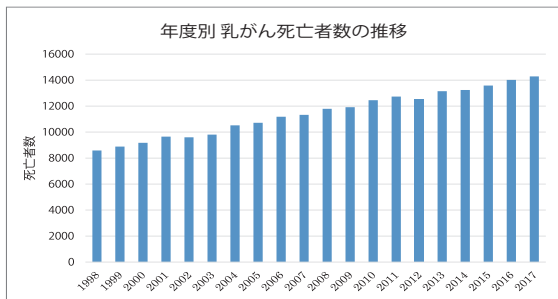
1. 改変のない原文の状態を利用する。また、意図が異なって伝わるような部分的な利用を行わない。
2. 「がんに関する信頼のおける情報をわかりやすく

提供することにより、国内に居住する人々が、適切かつ効果的に情報を活用できるようにすること」に合致する目的で利用する。

3. 出典として、「国立がん研究センターがん情報サービス」と明記する。
4. 著作権マーク(©)の記載がある図表、記述がある場合には、使用許諾が必要となります。
5. 出典元の記載がある図表、記述がある場合には、出典元に利用者が許諾を得る必要があります。

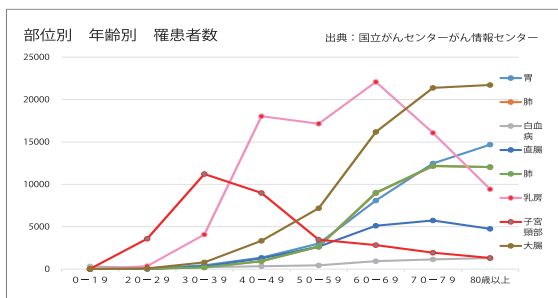
「死亡データ」

日本人全体の死亡者数は、厚生労働省「人口動態統計」として公表されています。



「罹患データ」

罹患データには、①全国がん罹患推計値※2と②地域がん登録全国合計値と③高精度地域がん登録値の3つの種類のデータがあります。②のデータは「全国がん登録」が始まった以降となりますが、罹患者数、罹患率がわかります。罹患者の経年動向を見る場合には、推計値データを使用する必要があります。

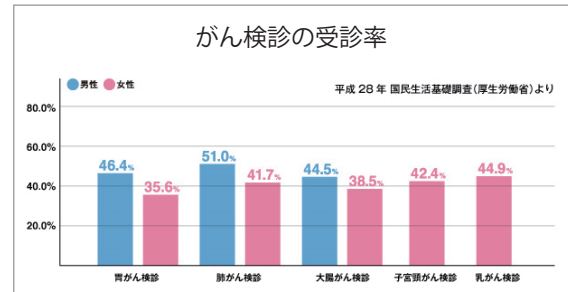


「受診データ」

がん情報センター受診率データには、国民生活基礎調査による推定値と厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」により把握した住民検診の実施状況について都道府県で集計の2つのデータがあります。国民生活基礎調査では、40歳～69歳の乳がん受診率は、2016年データでは

44.9%となっています。ただ、この数字は国の指針として40歳以上の乳がん検査は2年に1度行うに依り過去2年間の受診の有無の数字になっています。

受診者数データは、「政府統計の総合窓口」に地域保健・健康増進事業報告としてインターネットに掲載されています。



「生存率」

全国がんセンター協議会が、生存率調査を行い公表されています。

以上のように乳がんの現状を数字で把握することができますが、統計上の前提条件もありますし、言葉の説明もありますので、一度皆さんもご確認してみてください。

※1 院内がん登録：病院で診断されたり、治療されたりしたすべての患者さんのがんについての情報を、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。この調査を複数の病院が同じ方法で行うことで、その情報を比べることができるようになり、病院ごとの特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。病院にかかったすべてのがん患者さんという幅広い対象に対して調査を行いますので、病院のがん診療の特徴がよくわかります。

※2 全国がん罹患推計：地域がん登録のデータを元に推計した日本全国のがん罹患数と罹患率。日本では、国の統計として、がん罹患を把握する仕組みがないための推計。しかし、地域がん登録が実施されている都道府県すべての精度が良いわけではなく、そのため、比較的精度が良いとされる地域がん登録のデータをもとに「推計」作業が行われてきました。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

J.POSH事務局

NPO法人くまがやピンクリボンの会 小・中学校でがん教育

NPO法人くまがやピンクリボンの会(栗原和江代表理事、熊谷市河原町)は2008年5月、乳がんサバイバーである栗原代表によって立ち上げられ、16年4月にNPO法人化しました。現在の会員数は162人。栗原さん自身の乳がん経験から、地元における乳がん検診率の低さに驚き「乳がんの早期発見、早期治療につながる検診率向上」を目標に、受診率の向上に力を入れておられます。

NPO法人としての18年度の主な事業は

1. 地元の小中学校児童、生徒、PTAなどを対象としたサバイバーが話す【がん教育、生命(いのち)の授業】実施
2. 先輩サバイバーたちが“後輩たち”の悩み事を傾聴する【サバイバー茶話会】の開催
3. 10月にはピンクリボン・デー inくまがやを開催し、講演会、ウォーク、ブース出展などを行うだけでなく近隣のイベントにも啓発ブースを出展するなど広く啓発活動を展開
4. がんに優しい熊谷市づくりのため条例制定を目指す活動

5. 「局所冷却療法の早期保険適用を求める嘆願書(抗がん剤の副作用による脱毛を防ぐための治療への保険適用を求める)」を作成するなどの活動を展開されています。



栗原和江代表理事

特筆すべき「がん教育、生命(いのち)の授業」では、副次的効果として授業を受けた児童・生徒らが父母などに「がん検診を勧める」点が顕著に受診率アップに現れている、といます。18年度は熊谷市委託事業として熊谷市立小中学校25校、行田市委託事業として行田市立小学校11校でがん教育を実施。その他、県内の一部の高校、深谷市、越谷市の小中学校などからも要望を受け授業を実施されています。19年度にはさらに多くの教育依頼があり嬉しい悲鳴だそうです。

※がん教育について次号に執筆頂く予定です。



(行田市立 東小学校)



(熊谷市立 妻沼東中学校)

がん教育に力を入れている「くまがやピンクリボンの会」には、教育依頼が相次いでいるという。

ピンクリボン温泉ネットワーク

温泉パートナーのご案内

私たち日本人にとって、温泉は心身ともに癒しの場です。多くの乳がん経験者の方々は、乳がんで手術をする前と同じように家族や友人と温泉に入りたいとの想いをもっておられます。しかしながら、手術の傷あとが気になり、温泉に行くことから遠のいてしまっている方が沢山おられるのも事実です。掲載の施設はピンクリボン温泉ネットワークのパートナーとして「乳がんの手術を受けて、温泉には行きづらくなったと感じておられる方々にも温泉を楽しんでいただける環境作り」に取り組んで頂いております。※各施設の掲載は地域順です。※ピンクリボン温泉ネットワークについてとその他の温泉パートナーはJ.POSHのホームページをご覧ください。(http://www.j-posh.com)

北海道	温根湯温泉 美白の湯宿 大江本家
	源泉かけながしの宿 旅館 塩別つるつる温泉
	旭岳温泉 ラビスタ大雪山
	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルディアバレー
	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルベアモンテ
	旭岳温泉 大雪山白樺荘
	旭岳温泉 湯元 湧駒荘
	天人峡温泉 御やどしきしま荘
	天人峡温泉 天人閣
	浅虫温泉 南部屋・海扇閣
青森県	志戸平温泉 游泉 志だて
	岩手県鶯宿温泉 ホテル加賀助
	新鉛温泉 結びの宿 愛隣館
岩手県	男鹿温泉郷 網元の宿 男鹿萬盛閣
	からまつ山荘 東兵衛温泉
山形県	かみのやま温泉 展望露天の湯 有馬館

山形県	月山志津温泉 変若水の湯つたや
	福島県福島市土湯温泉 自噴泉の宿 ニュー扇屋
福島県	会津東山温泉 いろりの宿 芦名
	那須黒磯温泉 かんすい苑 覚楽
栃木県	板室温泉 あったか〜いやど 勝風館
	板室温泉 源泉 ほたるの湯
	板室温泉 Onsen Ryokan 山喜
	板室温泉 大黒屋
	板室温泉 加登屋旅館
	板室温泉 江戸や
	板室温泉 旅館 山本荘
	板室温泉 旅館 きくや一望館
	板室温泉 水清館
	板室温泉 ホテル板室
栃木県	板室温泉 奥那須・大正村 幸乃湯温泉
	塩原温泉 彩つむぎ

栃木県	塩原温泉郷 湯守 田中屋
	塩原温泉 やまの宿 下藤屋
群馬県	益子温泉 益子館 里山リゾートホテル
	丸沼高原 座禅温泉
	小野上温泉 SUNおのがみ
	たちばなの郷 城 山
	老神温泉 伊藤園ホテルズ 山楽荘
	老神温泉 観山荘
	老神温泉 ホテル山口屋
	老神温泉 旅館 石亭
	老神温泉 東明館
	老神温泉 仙 郷
群馬県	老神温泉 穴原湯 東秀館
	老神温泉 ニュー牧水苑
群馬県	老神温泉 上田屋旅館
	老神温泉 ホテル楽善荘
群馬県	老神温泉 金龍園

群馬県	老神温泉 吟松亭 あわしま
	老神温泉 ホテル 伍楼閣
埼玉県	と 四季の湯温泉 ヘリテイジリゾート
	秩父七湯《御代の湯》 新木鉱泉
千葉県	季粋の宿 紋屋
	亀山温泉ホテル
新潟県	新潟県瀬波温泉 大観荘せなみの湯
	ホテル小柳
石川県	粟津温泉 あわづグランドホテル
	粟津温泉 あわづグランドホテル別館
	山中温泉 花・彩朝楽
山梨県	尾白の湯 白州・尾白の森名水公園べるが
	昼神温泉 料理旅館 むらさわ
長野県	昼神温泉 お宿 山翠
	昼神温泉 保養センター尾張あさひ苑
	昼神温泉 昼神グランドホテル 天心
	昼神温泉 癒楽の宿 清風苑
	昼神温泉 飯伊森林組合 昼神荘
	昼神温泉 ユルイの宿 恵山
	昼神温泉 日長庵 桂月

長野県	昼神温泉 万葉茶寮 みさか
	昼神温泉 旅の玉手箱 おとぎ亭光風
昼神温泉 懐石と炉ばたの宿 吉弥	
昼神温泉 湯多利の里 伊那華	
昼神温泉 ホテルはなや	
昼神温泉 リフレッシュinひるがみの森	
昼神温泉 薬師館	
昼神温泉 阿智村保養センター 鶴巻荘	
浅間温泉 東石川旅館	
浅間温泉 菊之湯	
浅間温泉 ホテルおもと	
浅間温泉 富士乃湯	
浅間温泉 ホットプラザ浅間	
浅間温泉 ひなの湯	
浅間温泉 香 蘭 荘	
浅間温泉 尾上の湯旅館	
ホテル シェラリゾート白馬	
ホテルタングラム	
蓼科親湯温泉	
上諏訪温泉 し ん ゆ	

長野県	上諏訪温泉 萃 sui 諏訪湖
	下呂温泉 下呂観光ホテル 本館
岐阜県	下呂温泉 下呂観光ホテル しょうげつ
	下呂温泉 白樺ホテル
下呂温泉 木曾屋	
静岡県	志太温泉 潮生館
	伊豆今井浜温泉 花の風
愛知県	【女性専用旅館】 姫宿 花かざし
	懐古ロマンの宿 季さら
三重県	伏尾温泉 不死王閣
	犬鳴山温泉 不動口館
大阪府	天見温泉 南天苑
	東大阪 石切温泉 ホテルセイリュウ
兵庫県	神戸みなと温泉 蓮
	南紀勝浦温泉 ホテルなぎさや
和歌山県	湯郷温泉 ゆのごう美春閣
	きくがわ温泉 サングリーン菊川
岡山県	三朝薬師の湯 万翠楼
	新祖谷温泉 ホテルかずら橋
山口県	北川村温泉 ゆずの宿

川 越市の最明寺、お寺発のユニークな活動を展開

「傾聴ボランティア(注)として上尾市内のある病院で終末期を迎えたがん患者様と接し、がんの早期発見や検査などの大切さを感じたことがピンクリボン活動を始めた動機です」と話し始めてくれた揺光山最明寺(天台宗、埼玉県川越市小ケ谷)の千田明寛(せんだ みょうかん)副住職(31)。同寺は2018年、J.P.O.S.Hのオフィシャルパートナーに登録されました。

明寛さんは比叡山延暦寺で修行を修め、27歳の時にインドの寺院で1年間の留學生活を送られました。この経験で感じたことは「インドでは様々な宗教・宗教者が施設を開放し社会福祉活動に努めている。それに比べ、日本でお寺というと死後の儀式をする場所であり“葬式仏教”が主流となっています。本来のお寺は困っている方や助けを必要としている人のためにある、と私は思っています。帰国してからは、お寺から社会に貢献したいという強い想いを持つようになりました。ピンクリボン活動を選んだのは、乳がんは早期発見・早期治療が何よりも大切であり、早期であれば



千田明寛 副住職さん 最明寺本堂にて

命の危険に及ぶ可能性が少ないと知り、これならば自分でも力になれると啓発活動の大切さを強く意識したからです」と、宗教者として熱い想いを語ってくれました。

お寺としての様々な行事を展開されています。昨年10月のピンクリボン月間、夜に本堂をピンク色にライトアップ。「『お寺にピンクとはけしからん』との声が強かったわけではありませんが、趣旨を説明したところ賛同に回ってくれました」。同月27日の土曜日はピンクリボン啓発デーとして、女性達が講師を務めた本堂内でのヨガ体験、チャリティーコンサート、チョコレート体験、ハンドセラピー体験など。「地域の大人も子供さんも楽しみながら参加して、ピンクリボンについて知っていただき、悲しむ人を減らしていければ」と語り、イベント収益の一部はJ.P.O.S.Hに寄付して頂きました。今年のピンクリボン月間にも女性シンガー達がチャリティーコンサートを開催します。



© 2018 Discover Jch

2018年10月1日～28日 本堂をライトアップ

注：傾聴ボランティア= 苦しみや悩みをじっくり聴いて共感し、ありのままを受け入れるボランティア。相手の心を癒し、孤独や不安を軽減させる手助けをする。アメリカカリフォルニア州の終末医療施設で行われていた緩和ケアが発祥といわれている。

J.POSH奨学金まなび 卒業生の声

■大阪府 Oさん

今年の大学受験は後期試験で初めて合格したので3月中旬まで受験生でした。家族には特にお金のことで迷惑をかけてしまったなあと思っていましたが、母から受験でお金を使ったけど、J.POSHの奨学金のおかげでここまで頑張ることができたと言われました。本当にとっても感謝しています。大学では勉強だけでなく、人々にありがとうと思われ、役に立つことのできる大人になれるようなことに頑張ろうと思います。

■兵庫県 Gさん

私にとって高校3年間は長いようで一瞬にすぎ、充実した生活を送ることができました。部活の仲間、クラスメイト、先生、たくさんの方々に支えられて毎日が本当に楽しくて、財産になりました。そして、何より思うことは生きるということです。元気であることは当たり前だけど当たり前でないということ。

だからこそ1日1日を大切に、生かされていることに感謝して、もっと充実した日を送っていききたいと思います。

■千葉県 Sさん

病気のことを打ち明けられて最初は頭が真っ白になって涙しか出ませんでした。まさか、自分の家族が命に係わる病気になるなんて考えたこともなかったのです。療養中はつらかったと思いますが、それなのに、親って不思議な事に子供の幸せを考えているのです。子供はそれに応えるのが礼儀だと思います。この奨学金のおかげで家族への負担を少しでも減らして、幸せの一步を踏み出すことができたと思います。

■宮崎県 Hさん

今回2年間支援して下さいありがとうございます。母子家庭で苦しい中、私の夢のため私立高校に入れてくれました。学校生活がおくれた事、何よりも看護実習へ行けた事が嬉しかったです。患者さんと接して今必要なことは何か?看護できる事は何かあるか等問題点を見出すことや、良いコミュニケーション方法を知ることができました。これから看護専攻科へ進学できるのも支援いただいたおかげです。これからも勉学に励み、看護師になれるよう頑張ります。

「J.POSH奨学金まなび」給付者選考が終わりました。

乳がんで亡くなられた、または闘病中の保護者を持つ高校生に、年間12万円(無返済)を支給する奨学金です。今年より給付者数を75名(継続者含む)に増員しました。今年も多数の応募がありました。さらに多くの高校生に給付できればと思います。ご寄附をお願いします。

銀行口座

口座名: J.POSH奨学金まなび

特定非営利活動法人J.POSH 理事 田中完児

ジェイ・ポッシュ・マガキ・キナナビ

トク化イリカドウダクタイ ジェイ・ポッシュ リジ 針カカジ

銀行名: 三菱UFJ銀行 大阪営業部

口座番号: 普通 3839367

郵便振替

口座名: J.POSH奨学金まなび

口座番号: 00980-8-145817

クレジットカード

J.POSHホームページからお願いします。

<http://www.j-posh.com/about/fund/manabi/>

新 啓発グッズのお知らせ

今治のハンドタオル - わた音 -



(ピンク・イエロー・ダークグレー)各 ¥500 (税込)

ハンドタオル「わた音」朱子織(しゅすおり)の今治タオル。綿のようにやさしい肌ざわり、ピンク・イエロー・ダークグレーの3色をご用意しました。正規今治タオルの限定品ですので、早いもの勝ち!!

- 生産国：日本
- サイズ：約25cm角
- 素材：綿100%



リストバンド
¥500 (税込)

「J.POSH」の刺繍入りのリストバンド。ウォーキングやランニング、その他のスポーツ時にも最適!

■素材：綿、アクリル、ナイロン、ポリウレタン

予告 啓発グッズ「Tシャツ」 製作中! 乞うご期待!!



ピンクとパープルの2種類です

ピンクリボン啓発グッズのご購入は「ピンクリボングッズパーク」へ

PCから<https://goods.j-posh.com/>にアクセスまたはスマートフォンで右のQRコードからアクセスして下さい。



ピンクリボンNEWSあとがき

ピンクリボンNEWSの編集長として丸5年一。乳がん啓発活動に関わる全国の大勢の皆さまにお目にかかり、記事にさせて頂きました。取材した1件1件がすべて脳裡に刻まれています。この号でご紹介させて頂いたのは川越市の最明寺副住職・千田明寛(みょうかん)さん。明寛さんとのインタビューでは強烈なインパクトを受けました。師がピンクリボン活動を始められた動機が『傾聴ボランティア』。恥ずか

しながら初めて聞く言葉でした。“葬式仏教”だけでなく『本来のお寺は困っている方や助けを必要としている人のためにある』という明快な言葉は琴線に触れるもので、心の中で思わず快哉を叫んでいました。ピンクリボン月間には本堂を開放し、女性が主役のイベントを開催して乳がん啓発を地域にアピール。お寺から新しくユニークな情報を発信する31歳の若き師の瞳は、透明感に溢れていました。(T.I)